



最優秀賞

東京理科大学
吉田 周和

【作品名】
「友恵湯」建替え計画
～銭湯と住宅の新しいあり方～



開口を開くこと・トップライト・砂利・残り湯を利用する小川によって開放感あふれる通り



砂利や植栽によって緩やかに内と外がつながる室内露天風呂



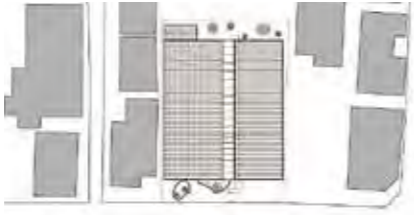
中間領域に開くことで銭湯や通り庭を眺められる、住宅と休憩所の両立空間



銭湯の更衣室への入口と通り庭の抜けを強調する裏庭

1. 敷地と友恵湯・小さな銭湯の課題

山口県宇部市の「友恵湯」の建替え計画を想定。中低層の建物に囲まれ、周辺になじむ木造とRC造の混構造を採用した。2代目が引き継ぐ「友恵湯」は60年間地域のコミュニティの場として利用され、現在は市内で唯一の銭湯である。跡継ぎや経済面、老朽化など、多くの課題に直面し市内で唯一の銭湯をどのように守ることができるか。新しい住戸一体型銭湯のあり方を示し、これらの課題に応える一つの手段となることを期待する。



2. 住宅と銭湯の共存



窓を閉め切るとプライベートなワンルーム空間を作り、住宅として利用できる。住宅は開口を中間領域に向けて開くことで銭湯の休憩所としても機能する。障子を閉めることで部分的にプライベートな空間を生み出すことができる。開けている部分は休憩所となる。



ワンルームの住宅が銭湯と住宅の境界を不明確にする。領域の曖昧さは地域の人々とのつながりを強くし、手軽に居室空間を生むことができるため、豊かな住環境も成立させる。

設計コンセプト

「未来に向け暮らしに寄り添う」と聞いて、未来の暮らしとは具体的にどのようなものを想像するだろうか。私は少し先の日常という未来から後世の生活に至るまで、あらゆる人々の生活に寄り添う必要があると感じた。地球温暖化や南海トラフ地震、首都直下型地震のような災害など、様々な未来の暮らしを脅かす課題がある。銭湯は衛生設備の発達に伴い、年々減少している。街の小さな銭湯の多くは家族経営だが、跡継ぎや収入の減少、老朽化など様々な問題を抱えている。銭湯と住宅のあり方を再考し、「環境負荷低減・防災・日常生活の豊かさ」を実現すると同時に、小さな銭湯の魅力を更新し出すことはできないか、と考えた。提案のポイントは大きく分けて3つある。まず、銭湯に欠かせない湯船

は大屋根の下、中間領域に置くことで温熱環境に大きく寄り添っている。また、湯船の使い方、配置、インナーガーデンはこれまでにない魅力的な空間、銭湯を作り出す。2つ目は、住宅が土間と和室によるワンルーム空間で構成されていることだ。生活や銭湯の休憩に利用される空間での新しいライフスタイルは生活に豊かさをもたらす。最後に、災害についてだ。銭湯住宅による地域のコミュニティの活性化は防災力をも向上させる。災害時に、人々が助け合う絆を構築するとともに、人々に湯を供給することで人々に温もりを届ける。

審査委員講評

一粒で二度おいしい、いや三度おいしいとはこのことか。「お湯を沸かす」だけでみんなが笑顔になれる仕掛けが詰まった提案です。その提案をわかりやすく魅力的に見せる数々のイラストやキャッチコピーも秀逸。昨今、日本各地で銭湯好きの比較若世代による銭湯の再生計画が進んでいます。その点でもタイムリーなこの作品、実現してほしいなあ。

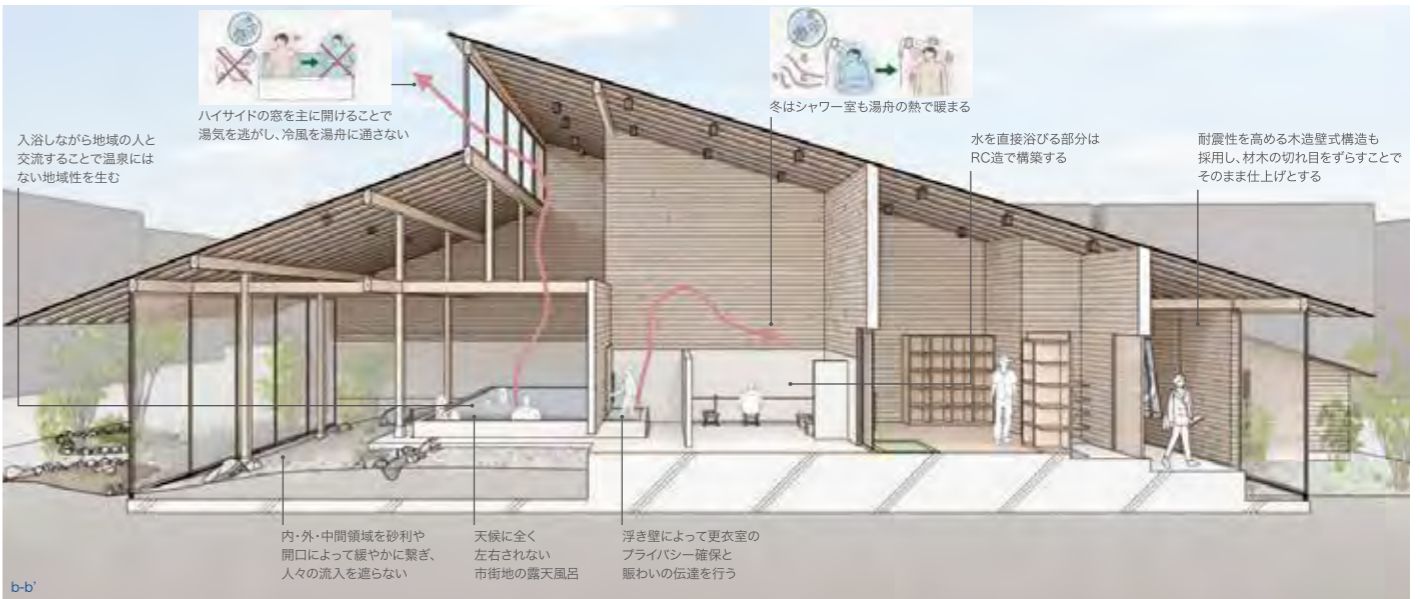


4. 銭湯の温熱

住宅の空調や銭湯の換気は、環境問題、快適性に大きな影響を及ぼす。暖房は冷房の約6倍の二酸化炭素を排出する。季節によって換気する気流を変化させ、住宅の暖房を銭湯の熱によってまかない、露天風呂の快適性を年中維持する。冬季には銭湯の熱を住宅に引き込み、加温・加湿を行う。シャワー室も浮き壁によって湯の熱を用いて暖める。夏季には開口を開けることで、自然風を感じながら湯舟に浸ることができる。



温風
冷風



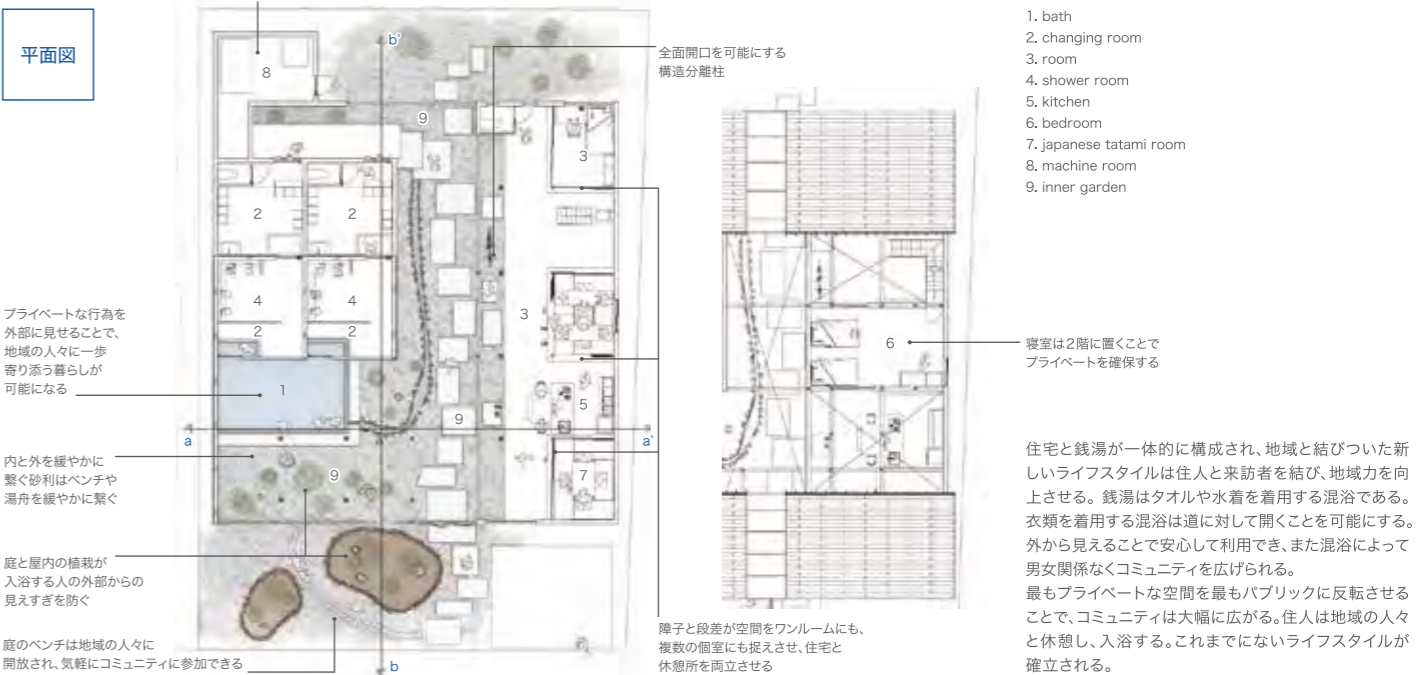
b-b'

5. 室内露天風呂と住宅による地域力向上

機械室には洗濯機や食料保管場所、新ボイラーを配置し、災害時の暮らしに備える

住宅に入り込み砂利や開口は通り庭を広く感じさせる

平面図



- 1. bath
- 2. changing room
- 3. room
- 4. shower room
- 5. kitchen
- 6. bedroom
- 7. japanese tatami room
- 8. machine room
- 9. inner garden

寝室は2階に置くことでプライベートを確保する

住宅と銭湯が一体的に構成され、地域と結びついた新しいライフスタイルは住人と来訪者結び、地域力を向上させる。銭湯はタオルや水着を着用する混浴である。衣類を着用する混浴は道に対して開くことを可能にする。外から見えることで安心して利用でき、また混浴によって男女関係なくコミュニティを広げられる。最もプライベートな空間を最もパブリックに反転させることで、コミュニティは大幅に広がる。住人は地域の人々と休憩し、入浴する。これまでにないライフスタイルが確立される。